

備前市事務事業評価シート

(平成22年度事業)

事業の概要			
事業開始年度	平成17年度		
総合計画	大項目	基本目標	03 地域文化と人が輝くまちづくり
	中項目	基本施策	01 未来を支える人材を育むまちづくり
	小項目	施策	01 幼稚園
事務事業名	01	幼稚園管理運営事業	
根拠法令・例規等			学校教育法第1条、第2条、第22条ほか
問 担当課(室)			教育総務課庶務係
合 職・氏名			係長 入江章行
先 電 話			0869-64-1802
このシート作成に要した時間			1.0 時間

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	市内各小学校区の満4歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児 伊里認定こども園、吉永地域幼稚園は満3歳以上
目 的 (何のために)	幼児を保育し、その心身の発達を助長することを目的に設置した幼稚園の管理運営を行う。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	幼稚園管理運営費の節減と経営の効率化

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	幼稚園管理運営事業	市立幼稚園9園の施設維持管理運営	
	三園地区園児送迎車運行管理事業	三園地区園児送迎車運行管理	

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業費等		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
決算額	直接事業費		12,766	23,583	18,585
	必要人員(人件費)	千円	0.28人 2,375	0.34人 2,011	0.28人 2,243
	事業費計		15,141	25,594	20,828
	国県支出金			13,399	
	受益者負担				
	繰入金	千円			
その他()					
一般財源		15,141	12,195	20,828	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度実績
幼稚園管理事業費用	説明	総事業費/園児数			
結果指標量	事業		459	422	366
対前年比%			-	91.9%	86.7%
活動コスト			15,141,000	25,594,000	19,870,000
単位当たりコスト	円		32,987	60,649	54,290

事業の成果					
成果指標名	年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度目標値
1園あたりの修繕料	目標値(A)	386,366	400,615	273,247	300,000
	実績値(B)	400,615	273,247	333,222	到達目標値
	達成率(B/A)	103.69%	68.21%	121.95%	300,000
成果指標設定の考え方・式や説明					
幼稚園管理事業の修繕費/9園					

事務事業の評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い	妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施するよう法令で義務づけられている <input type="checkbox"/> 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす <input type="checkbox"/> 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない <input type="checkbox"/> 事業の内容が一部の受益者に偏っている <input type="checkbox"/> 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化してきている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある <input type="checkbox"/> 市民・団体等から要望・要請が強い	B
	市民ニーズ	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは前年度と比較して改善している <input type="checkbox"/> 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある <input type="checkbox"/> 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい <input type="checkbox"/> 受益者負担率は適正である <input type="checkbox"/> 受益者負担率を見直す余地がある <input checked="" type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある <input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 <A~E> C
有効性の評価	目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の設定は適切である <input type="checkbox"/> 成果指標の到達目標値は達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は前年度と比較して向上している <input type="checkbox"/> 成果指標達成率は80%未満となっている <input type="checkbox"/> 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない <input type="checkbox"/> 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい <input type="checkbox"/> 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参加している	有効性評価 <A~E> C

事業の目的やその数値目標がある成果指標に留意しながら評価

進行年度(H23年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
説明	幼稚園1園当たりの修繕料を注視しながら必要な改修事業化に繋げていく。					

総合評価		5段階評価(A~E)のランク基準 A:高い B:やや高い C:普通 D:やや低い E:低い
日頃から安全点検を実施し園児が安心して幼児教育が受けられるよう施設環境の維持に努めている。経年使用による施設設備の老朽化もあり、早期発見、早期対処を今後も実践し、経費削減に努める。経営の効率化という観点からも、こども園建設など幼児教育施設のあり方を含めた施設整備の必要性を認める。	評価区分 <A~E>	B

平成24年度の方向性・取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
取組目標	こども園建設など幼児教育施設のあり方を含め施設整備事業に必要な見直しを行う。					